

小 / 理科 / 6年 / 生物と環境 /
人と動物の体 / 理解シート

人間の骨は、全部で何本あるの^{ほね}



大人の骨は約206個、子どもは年れいによってちがうけど、大人よりずうっと数が多いのさ。

生まれたばかりの赤ちゃんの骨の数は、約305個もあります。それが、成長していくにしたがって、はなれていた骨がくっついて一つになったり、いくつかの骨が組み合わさって一つの骨になったりして、大人になると、200～206個になるのです。骨のくっつきぐあいは、年れいや人によってちがいがあため、決まった数にはならないのです。

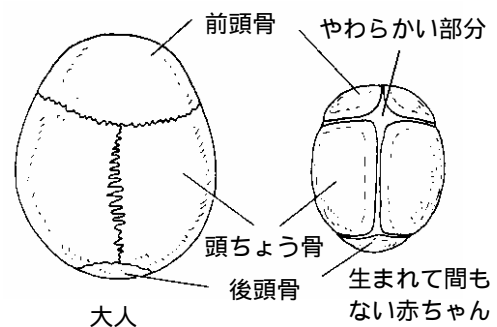
骨は、いくつかを組み合わさっていることが多く、頭がい骨は、23個の骨からできています。うでは64個、足は62個の骨が組み合わさっています。背骨も、26個もの骨がつみ重なってできています。

骨は、毎日のように変化している

生まれたばかりのころの赤ちゃんは、頭のとっぺんが四つの骨に分かれていて、真ん中あたりは、骨がなくぶよぶよしています。

日がたつにつれて四つの骨が近づき、がっちりかみ合って、じょうぶな頭骨になり、大切な脳を守るようになります。こしのところにある骨ばんや、手足の骨なども、子どものころは、はなればなれになっていたのが、大人になると一つになってしまいます。

骨は、いつも古くなったものがこわされて、新しくつくられ、たえず変化しています。



<上から見た頭がい骨>